

第6 1. 保健事業費の実施状況(添付)

予算科目	事業名	注1) 事業分類	事業の目的及び概要	対象者				共催・補助・委託の別	実施時期	事業費(千円)				実施状況		成功・推進要因	課題及び阻害要因	注2) 評価	
				資格	対象事業所	性別	年齢			対象者	平成29年度決算	平成30年度予算	平成30年度決算	前年度比	平成29年度決算				平成30年度決算
特定健康診査事業費	1 特定健康診査	1	共同健診 【目的】生活習慣病予防に向け、特定健診の受診率向上。 【概要】被扶養者と任意継続被保険者を対象に施設型・巡回型健診を実施。(委託先:イーウェル)	被扶養者、 任継被保険者 及びその 被扶養者	全て	男女	40~74	基準該当者	委託・補助	随時	6,477千円	8,200千円	6,964千円	+487千円	対象者数:1,407人 共同健診 受診者数:469人	対象者数:1,372人 共同健診 受診者数:439人	健保組合共同健診事業により、全国約1730箇所の施設と330ヶ所の巡回会場を利用できることにより、受診機会が増える。委託することにより、健診結果データを効率的に入手可能となっている。	被扶養者の受診率向上に向け、電話やはがきによる受診勧奨を定期的に実施。H/Pでも広報強化し、受診率の向上を図る。	4
			人間ドック 【目的】生活習慣病予防に向け、特定健診の受診率向上。 【概要】人間ドック受診時に特定健診を受けることにより受診機会を増やし、結果データ入手を確実に行う。	被保険者、 被扶養配偶者、 任継被保険者 及びその 被扶養者	全て	男女	40~74	基準該当者	補助	随時	9,717千円	8,800千円	9,399千円	-318千円	人間ドック受診者数 被保険者 : 1,074人 被扶養配偶者: 226人 合計 : 1,300人	人間ドック受診者数 被保険者 : 1,075人 被扶養配偶者: 223人 合計 : 1,298人	人間ドックと併せて特定健診を実施することにより、利便性あり。	一部、健診結果をXMLデータで提供できない非契約健診機関での受診があった。	4
特定保健指導事業費	1 特定保健指導	1	【目的】生活習慣病予防に向けての特定保健指導の実施率向上。 【概要】被保険者は事業主の協力を得て、事業所面談又は、個別面談実施。被扶養者は個別面談。(積極的支援、動機付け支援対象者を保健支援センターとコナミスポーツ&ライフに委託。)	被保険者 被扶養者	全て	男女	40~59		委託	随時	3,249千円	6,453千円	3,040千円	-209千円	100人 「H28年度受診者分のうちH29年4月1日以降に初回面談を実施した者」と「H29年度受診者分のうちH30年3月31日までに初回面談を実施した者」の合計	108人 「H29年度受診者分のうちH30年4月1日以降に初回面談を実施した者」と「H30年度受診者分のうちH31年3月31日までに初回面談を実施した者」の合計	事業所担当者として協力体制のもとで実施することで、対象の被保険者の継続率が向上を図った。	過去に複数回対象となった対象者への意識付けの工夫。被扶養者の参加意識向上のための工夫。	3
保健指導宣伝費	1 機関誌の発行・配布	4	【目的】情報発信・健康意識の醸成。 【概要】機関誌(健保組合運営・収支・保健事業案内・健康情報・公告事項)を発行(2回/年)し、ホームページに掲載する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	20~74	全員	委託	年2回	2,166千円	500千円	324千円	-1,842千円	「2017年春号」「2017年夏号」H/Pに掲載。	「2018年春号」「2018年夏号」H/Pに掲載。	H/P掲載とすることで、情報アクセスの利便性の向上を図った。	H/Pアクセスのモニタリング。	3
	2 医療費通知	7	【目的】医療費に対するコスト意識喚起と診療内容確認。 【概要】医療費・保険給付金額をホームページから検索・閲覧できるようにする。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0~74	全員	委託	毎月	700千円	1,200千円	1,568千円	+868千円	医療通知を毎月被保険者宛に送付。	平成30年度より、ウェブでいつでも閲覧できるようにした。医療費控除確定申告の電子申請にも対応。	加入者がいつでも診療内容と金額を確認することで、医療費適正化につながる。医療機関の請求誤りが発見できるようにした。	医療通知(Web)利用状況の把握。	4
	3 育児指導書の配布	4	【目的】育児と健康に関する情報発信。 【概要】被保険者・被扶養配偶者の出産後1年間と翌年4回育児書を自宅に配布。	被保険者 被扶養者	全て	女性	20~50	基準該当者	委託	随時	717千円	770千円	485千円	-232千円	1年目 105件 2年目 123件	1年目 82件 2年目 92件	出産・育児・健康に関する情報が対象者家族の健康意識向上に寄与。自宅宛て送付。(海外も含む。)	子供の健康から自身の健康への関心の醸成。	5
	4 啓蒙パンフレットの作成	4	【目的】健康保険、医療、保健事業に関する情報提供。健康意識の醸成。 【概要】新規資格取得者にジェネリックシールを配布。啓蒙リーフレットを配布。	被保険者 被扶養者	全て	男女	20~74	全員	委託	随時	3,407千円	1,200千円	73千円	-3,334千円	隔年発行の「健康保険と医療のガイド 平成29年度版」を発行し、被保険者に配布。	新規取得者にジェネリック利用促進パンフレット及びジェネリックシールを配布。	新規資格取得者に配布してジェネリック医薬品の理解と利用促進に寄与。	令和元年版の制作。読みやすいガイド作成の工夫。効果的に活用される工夫。	3
	5 事業所担当者連絡会議	4	【目的】事業所担当者とのコミュニケーション強化。健康保険組合業務知識向上のための情報提供。 【概要】年に1~2度事業所担当者に対し、事業方針の説明、保健事業の協力強化のための機会を設定。	被保険者	全て	男女	20~60	基準該当者	共催	年1回	千円	400千円	255千円	+255千円	平成29年6月に実施。	平成30年6月に実施。	健保組合の収支状況、保健事業の情報提供と日常の健保組合関連業務知識の深化に寄与。	事業所単位の健康データの分かり易い開示。	1
	7 健康管理事業推進委員会	7	【目的】加入者の健康保持・増進のため。 【概要】事業主担当責任者、産業医、健保組合にて年4回開催。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0~74	全員	共催	年4回	千円	10千円	千円	+0千円	平成29年7月、9月、12月の3回開催。	平成30年5月の一回のみの開催に留まった。	人間ドックや定期健診項目の見直しに産業医の見解を反映して、効果的な疾病予防策の策定に寄与。	健診データに基づいた事業主との共同事業の検討。	1
	8 ジェネリック医薬品促進	7	【目的】後発医薬品の使用促進による薬剤医療費削減。 【概要】直近のレセプトに基づき、一定額以上削減できる対象者に対して後発医薬品差額通知を自宅宛てに送付。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0~74	基準該当者	委託	随時	422千円	1,132千円	653千円	+231千円	数量ベース ジェネリック利用率: 70.70%	数量ベース ジェネリック利用率: 75.94%	平成30年度より、医療費通知のWeb化と併せて、ジェネリック医薬品利用による差額情報を開示。ジェネリック利用率の向上。	平成30年度より、医療費通知のWeb化と併せ、Webによる配信開始予定。 シールの配布継続。	4
	9 データヘルス計画	7	【目的】国民の健康寿命延伸を目的とし、計画をPDCAサイクルで展開し、より効果的な保健事業を実現する。 【概要】特定健診やレセプトから得られるデータを分析し、疾病予防と医療費の適正化につながる保健事業を実施する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0~74	全員		随時	千円	3,200千円	千円	+0千円		第二期データヘルス計画策定し厚労省に提出。	第二期データヘルス計画策定により、従来の保健事業の棚卸ができた。	今後PDCAサイクルによって毎年継続して見直し・評価要。	3
											7,412千円	8,412千円	3,359千円	-4,053千円					
疾病予防費	1 定期健康診断(補助)	1	【目的】被保険者の疾病予防、健康増進、特定健診受診率向上。 【概要】労働安全衛生法で事業所に義務化されない受診対象者及び健診項目の費用を一部補助。	被保険者	全て	男女	20~74	基準該当者	共催	随時	16,189千円	20,800千円	14,368千円	-1,821千円			事業所と共催。	補助対象年齢・項目の見直し(追加を含む)。	4
	2 ①人間ドック(含むオプション)	1	【目的】疾病予防と特定健診受診率向上。 【概要】40歳以上の被保険者・被扶養配偶者に対し、年に1度費用を一部補助。(30,000円を上限)	被保険者 被扶養者	全て	男女	40~74	基準該当者	補助	随時	40,489千円	27,360千円	40,350千円	-139千円	1,300人	1,298人	平成25年度より対象年齢の引上げ、自己負担額増額、対象健診機関の絞り込みを行い、制度の説明・広報を行い、制度が定着してきた。対象健診機関絞り込みによる特定健診結果データ入手率が高まった。	事業所の協力を得て、制度内容の周知を継続する。	5
	②脳ドック	1	【目的】疾病予防。 【概要】対象年齢の被保険者・被扶養配偶者に対し、年に1度費用を一部補助。(20,000円を上限)	被保険者 被扶養者	全て	男女	45~74	基準該当者	補助	随時	①に含まれる	4,000千円	①に含まれる		198人	169人			
	③婦人科オプション	1	【目的】婦人科疾病予防と早期発見。 【概要】40歳以上の女性被保険者、被扶養配偶者希望者に対し、年に1度費用補助。	被保険者 被扶養者	全て	女性	40~74	基準該当者	補助	随時	①に含まれる	6,110千円	①に含まれる		552人	571人			
	④PSAオプション	1	【目的】前立腺がんの早期発見。 【概要】50歳以上の男性被保険者希望者に対し、年一度費用補助。	被保険者	全て	男性	50~74	全員	補助	随時	-	750千円	①に含まれる		275人 (定期健診時受診者を除く)	平成30年度から50歳以上男性のPSA検査を補助対象とした。	同上。		
	人間ドック計									40,489千円	38,220千円	40,350千円	-139千円						

予算科目	事業名	注1) 事業分類	事業の目的及び概要	対象者					共催・補助・委託の別	実施時期	事業費 (千円)				実施状況		成功・推進要因	課題及び阻害要因	注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者			平成29年度決算	平成30年度予算	平成30年度決算	前年度比	平成29年度決算	平成30年度決算			
疾病予防費	婦人科単独健診	1	【目的】婦人科疾病予防と早期発見。 【概要】女性被保険者及び40歳未満被扶養配偶者を対象として希望者に年1回補助。(委託先: イーウェル、被保険者は全額補助、被扶養配偶者は自己負担3,000円)	被保険者 被扶養者	全て	女性	20~74	基準該当者	補助	随時	5,630千円	8,533千円	6,592千円	+962千円	被保険者 : 298人 40歳未満 被扶養配偶者: 30人 合計 : 328人	被保険者 : 270人 40歳未満 被扶養配偶者: 45人 合計 : 315人	委託先起用により、健診機関数の充実。	平成25年度より開始。事業所の協力を得て、周知を継続し、受診率を向上させる。	3
	4 健康分析・医療費分析	7	【目的】医療費適正化。データヘルス計画の分析。 【概要】JMDCに委託しての医療費分析レポート作成費用。(平成21年以降予算計上のみで実施せず。)	被保険者 被扶養者	全て	男女	0~74	全員	委託	随時	千円	千円	千円	+0千円	-	-			
	5 共同健診(イーウェル) (特定健診費用を除く)	1	【目的】疾病予防、特定健診受診率向上。 【概要】被扶養者・任意継続被保険者対象 施設型・巡回型健診費用の一部補助。(委託先 イーウェル 基本項目自己負担 3,000円)	被扶養者 任意継続被保険者	全て	男女	40~74	基準該当者	委託	随時	8,589千円	11,143千円	8,457千円	-132千円	<特定健康診査参照>	<特定健康診査参照>	自宅宛案内冊子送付。 全国健診機関施設 1730箇所、巡回会場 330箇所。人間ドックと比べて	周知の継続。事業所の協力も得て、被扶養者の健康意識を高める。	3
											70,897千円	78,696千円	69,768千円	-1,129千円					
体育奨励費	1 スポーツクラブ	7	【目的】運動習慣による健康増進・健康意識の向上。 【概要】被保険者・16歳以上の被扶養者希望者がスポーツ施設を1回 900円、月8回まで利用可。(月8回以上は法人会費制度あり。)	被保険者 被扶養者	全て	男女	16~74	基準該当者	委託・補助	随時	1,426千円 3,907千円 5,333千円	1,426千円 4,725千円 6,151千円	1,426千円 3,187千円 4,613千円	+0千円 -720千円 -720千円	3,668回(補助) 1,251人(利用人数)	2,976回(補助) 973人(利用人数)	H/Pで案内。 運動習慣意識の向上。	継続使用者の固定化。 新規利用者への広報。	3
在宅療養支援事業費	1 高齢者訪問事業	6	【目的】前期高齢者疾病予防・健康意識向上。 【概要】前期高齢者(65歳以上)で勤務していない対象者に委託会社専門職による訪問健康指導実施。	被保険者 被扶養者	全て	男女	65~74	基準該当者	委託	随時	631千円	720千円	107千円	-524千円	20人	7人	生活習慣、ジェネリック医薬品、医療機関へのかかり方等を直接アドバイス。	利用希望者の低下。 前期高齢者勤務者への拡充検討。	4
合計											103,716千円	117,432千円	97,249千円	-6,466千円					

注1) 事業分類 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他  
注2) 評価 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%以上